

## U30 復興デザインコンペ 2023 募集要項

# 災間を 生きている都市

抗いがたい外力を前に、被災し、対応し、備え、（忘れ、）被災する。この繰り返しの間を、人は都市と生きているのではないのでしょうか。

災害の激甚化、常襲化が叫ばれて久しくあります。福島では東日本大震災からの復興が続けられていますが、同時に、東南海トラフ地震に対する事前復興に取り組んでいる太平洋沿岸の地域があります。また、海と山に囲まれた自然豊かな日本において、豪雨災害への不安を感じない年はありません。国外に目を向けますと、ウクライナ侵攻、シリア内戦など、戦争は現代においても各地で発生し、難民はこの10年間、増え続けています。それぞれの地域特有の自然・歴史があり、災間があるといえます。

災間において、果たして空間は、都市は、何をできるのでしょうか。土木、建築、都市、演劇、計算、模型、映像を駆使した都市の設計提案をお待ちしています。

### 審査委員

内藤 廣（委員長） 野原 卓（副委員長）  
乾 久美子 高橋 一平 岡部 明子  
岩瀬 諒子 羽藤 英二

### 主催

復興デザイン会議

### 応募資格

30歳以下（2023年3月末時点）の学生・  
社会人。個人・グループは問わない。  
ライフイベント等による活動休止期間を勘  
案する。

### 賞

最優秀賞1点 優秀賞2点程度

### 提出物

ポスター2枚（A3版横使い）  
PDFファイルで提出すること。

### 応募方法

下記のフォームから提出すること。  
（Googleアカウントが必要）

<https://forms.gle/tSPcSzLLFPkDdXu1A>

フォームからの提出ができない場合、応募者全員の氏名、所属、年齢、代表者のメールアドレスを明記し、ポスターのデータを添付して下記アドレスへ送付すること。

担当：nakao@bin.t.u-tokyo.ac.jp  
（東京大学・中尾俊介）

### スケジュール

9月30日 応募締め切り  
10月末頃 一次審査結果発表  
12月9日 公開二次審査  
復興デザイン会議全国大会会場にて  
（横浜市立大学）